

平成 25 年 4 月 4 日

牛久市長 池辺勝幸殿

認定NPO法人アサザ基金
アサザクラブ（牛久南中学校有志 8 名）

「谷津田の再生」に関するお願い

私たちは牛久市が進める「市民主体のまちづくり」に賛同します。私たちはトキを呼び戻すことを最終目的として、荒れた谷津田の再生を進めてきました。この田んぼを“かっぱん田”と言います。しかし、谷津田の田んぼを一つ再生させたことで、環境が元通りになるわけではありません。今、荒れている谷津田を全て再生していくために市の方に、以下の提案に関して協力をお願い申し上げます。

1. 谷津田周辺の水質を改善する。
2. 谷津田で生物多様性を実現する。
3. かっぱん田のもち米を使った商品を製作する。
4. 市民の人が南中とかっぱん田の谷津田再生の取り組みに協力してもらう体制を作る。

この4つの提案の実現に向けご協力頂けないでしょうか。

南中生は今まで谷津田の再生に向けて田植えや田んぼの再生、谷津田の調査などを行い谷津田の現状について学んできました。私達が谷津田の水質調査を行ったところ、化学肥料の使い過ぎで亜硝酸態窒素と硝酸態窒素という害がある物質が多いことが明らかになりました。このことから、谷津田の湧水が汚染されていることが分かりました。この現状が続いてしまうと、谷津田の生き物が減少し、牛久沼の環境悪化にも繋がってしまいます。私達中学生が自ら調査することによって、谷津田の現状を把握し、その深刻さを理解することで、私達が何をすれば谷津田の再生へ繋がるのかを考えました。人が起こした問題は、人の手で解決しなければならないと思います。

昨年度の1年生は、谷津田再生に向けて「つながりの輪風せんべい」というせんべいを商品化しました。商品化させることによって谷津田再生への資金を集め、人と生き物の繋がりを深めることができました。このようなことを私達も行いたいと思い、この計画の実施を考えました。

1 谷津田周辺の水質を改善する

『現状』

谷津田の周辺の畑では農薬や化学肥料を使いすぎています。その結果、亜硝酸態窒素や硝酸態窒素などの有害物質を含んだ湧水が湧いてきてしまっています。また、谷津田の多くの田んぼが耕作されなくなり荒れてしまっています。そのため、カエルやサギなどの生き物が減少しています。その湧水が牛久沼に流れ込むため、牛久沼も汚染しています。

『提案』

1. 谷津田周辺や谷津田での農薬や化学肥料をできるだけ使わないように呼びかけて下さい。

理由 下流の田んぼの湧水に影響が出ているから。

2. 生活排水による地下水の汚染が起きないように住民に呼びかけて下さい。

理由 垂れ流しにしている地域があるので、無くしたいから。

『効果』

水質がよくなることによって、谷津田に生息しているサワガニやホタルなどきれいな水に住む生き物が戻ってきます。

2 谷津田で生物多様性を実現する

『現状』

外来種が多く、その外来種が在来種を食べたりしてしまいます。さらに、水質が悪化しているため、生き物の住みかが減少しています。

『提案』

水質は上記の通りにして頂き、外来種の駆除にご協力下さい。

理由 在来種を呼び戻すため。

『効果』

外来種を減らすことによって、谷津田本来の在来種が増え、将来的には、目標にしているトキが戻ってきます。

3 かつぱん田のもち米を使った商品を製作する

『現状』

谷津田再生につながる商品を開発するための資金が不足しています。さらに、かつぱん田の知名度はまだ低く、谷津田再生に対する一般市民の関心もまだ高いとは言えません。

『提案』

- ・絵本(かつぱん田再生物語)

理由 谷津田の現状を分かりやすく伝え、谷津田再生の意義を多くの人に知ってもらうことができるから。

- ・ かつぱん団子(再生した谷津田でとれた米を使う)
- ・ いもまん (牛久市内の給食で利用する)
- ・ おはぎ、その他ドーナツやワッフル、ライスバーガー など
多くの製品に谷津田でとれた米を利用する。

理由 再生した谷津田の米を利用した商品を食べってもらうことで、谷津田再生の意義を多くの人に知ってもらうことができるから。

『効果』

かつぱん田の商品を製作することによって、知名度が上がり、資金を集めることができます。さらに、かつぱん田への協力者を多くすることもできます。“いもまん”が他の市町村の給食で利用されるようになればもっとたくさんの方の田んぼを再生させていくことができます。

4 市民の人が南中とかつぱん田の谷津田再生の取り組みに協力してもらう体制を作る

『現状』

今まで、南中生が取り組んできたことはたくさんあります。さらに、南中生は谷津田再生に向けて多くの提案をしてきました。しかし、それを市民の方に伝えきれていません。また、たくさんの方の市民の人に協力してもらわなければ荒れてしまっている谷津田を全て再生し田んぼを続けていくことができません。

『提案』

- 1、牛久市の広報誌に南中生の取り組みやかつぱん田を紹介する記事を載せて下さい。

理由 南中生の活動や提案を多くの市民の方々に伝えることで谷津田再生に理解や協力を頂ける人達を増やしたいから。

- 2、「谷津田ツアー」を実施するので、広報などの協力をお願いします。

理由 このツアーは、谷津田の現状やかつぱん田の取り組みを伝えこの取り組みに協力してもらう人を増やすことを目的に南中生が毎月実施します。ツアーに参加してもらった市民の人に田んぼを再生するための募金や再生した後の田んぼでの米作りなど協力してもらいたいから。

- 3、市民の人が田んぼをやりたいときに貸出できるような体制を作ってください。

理由 荒れた谷津田を田んぼに戻したときに米作りを市民の人にしてほしいから。

『効果』

多くの市民が谷津田再生に関心を持ち、私たちの取り組みに参加してもらった。体制を作ることでより多くの田んぼを再生し、継続的に米作りをしていくことができます。

私たちはこの一年間谷津田の再生をテーマにした総合学習で多くのことを学ぶことができました。それらの成果をこれからの牛久の町づくりに生かしていきたいと考え、上記の提案を致しました。ご検討いただきたくお願い申し上げます。

連絡先

認定 NPO 法人アサザ基金事務所

住所 〒300-1222 茨城県牛久市南 3-4-21

TEL 029-871-7166

FAX 029-801-6677

メール asaza@jcom.home.ne.jp